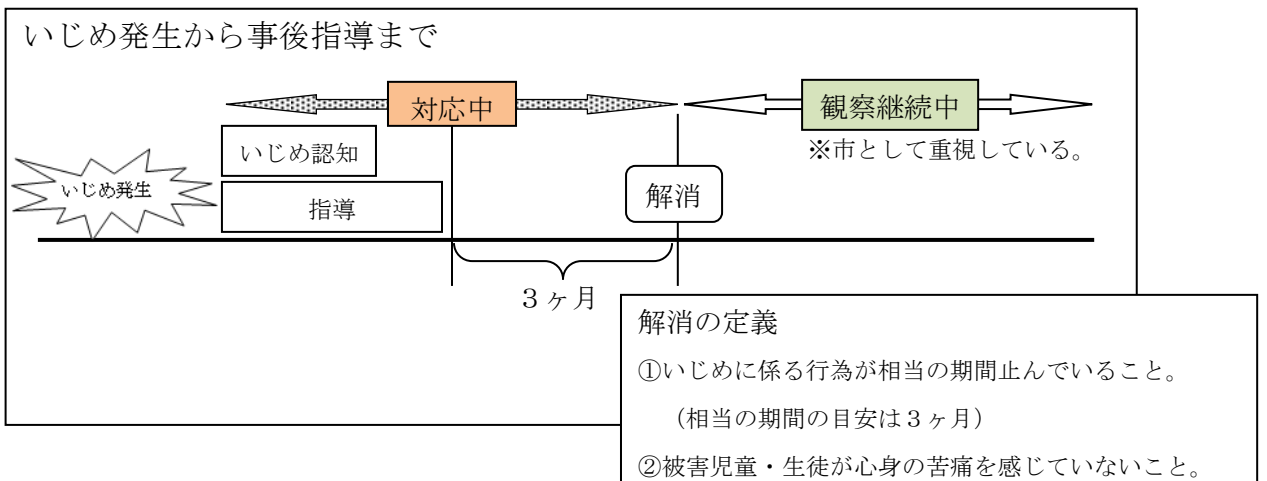


日高市いじめ防止等に関わる取り組みについて

平成26年度～平成30年度 いじめの認知件数

年度	26		27		28		29		30	
校種	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
認知件数	19	25	12	36	33	39	35	47	66	71
対応中 (解消に向けて取組み中)	16	3	3	3	0	0	9	8	13	13
観察継続中	3	22	9	33	33	39	26	39	53	58



平成30年度3学期に小学校9件、中学校1件が新たにいじめとして認知された。いじめの認知について、日高市教育委員会では生徒指導担当者による学校訪問や生徒指導主任研修会において「いじめの疑いも含めて積極的な認知」を指導している。その結果、平成30年度のいじめ認知件数は、小・中学校ともに過去5年間で最大であった。各学校がいじめに対して組織で対応し、早期発見、早期対応を行った結果ととらえている。

いじめの態様については、小・中学校ともに6割以上が「冷やかしたりからかい、悪口、文句等」であり、口頭によるものが最も多い。また、埼玉県と比較して、小学校では「金品を隠される、盗まれる等」、「ひどくぶつかられる、たたかれる、蹴られる」が多く、中学校では「軽くぶつかられる、遊ぶふりをしてたたかれる等」、「金品を隠される、盗まれる等」が多い。「その他」は、複合的な態様であった。

いじめの発見のきっかけの多くが「調査で発見」となっており、定期的実施しているアンケート調査が有効であることが分かる。いじめの認知漏れをなくし、いじめ解消率100%を目標とし、すべての児童生徒が安心して学ぶことができる学校とするための取り組みが重要となる。